

2020年度バイオメディカルサイエンス専攻シラバス

授業科目名	薬物治療学特論		
コーディネータ	矢野 育子		
授業形式	講義	配当年次	修士1年次
単位数	2単位	選択・必修	選択必修
曜日・時限	前期 火曜日 17:00～20:00		
担当分野名	薬理学、薬剤学		
担当教員名	古屋敷智之、矢野育子、大村友博、山本和宏、北川裕之、坂根稔康、中村 任、松本浩彦、久米 学		
授業のテーマ	薬物治療における分子メカニズムを理解する。 薬物動態学の基本を修得し、医薬品の適正使用に関連づける能力を育成する。 臨床研究や臨床試験を行う上で配慮すべき点について学習する。		
授業の到達目標	薬物治療における分子メカニズムについて理解できるようになる。 薬物動態の基本を修得し、医薬品適正使用上の注意点が説明できるようになる。 臨床研究や臨床試験を行う上で配慮すべき点について理解できるようになる。		
授業の概要と計画	前期(4月～9月)の火曜日17:00～20:00に第二講堂(医学研究科研究棟B 2階)で行う。 ただし、授業日程を変更する必要がある場合には、随時、通知する。 1) 5/26(火)「薬理学総論/確認テスト」担当:古屋敷 2) 6/2(火)「小胞体ストレスを起因とする疾患と治療戦略:パーキンソン病を中心に/確認テスト」 担当:大村 3) 6/9(火)「臨床薬理学総論/確認テスト」 担当:矢野 4) 6/16(火)「抗がん薬の有効性・安全性におけるゲノム薬理学的研究/確認テスト」 担当:山本 5) 6/23(火) (予備日) 6) 6/30(火)「がん化学療法時の薬物体内動態とバイオメタル情報について/確認テスト」 担当:中村 7) 7/7(火)「臨床研究の倫理と実践/確認テスト」 担当:久米 8) 7/14(火)「医薬品開発及び個別化治療におけるファーマコメト릭ス/確認テスト」 担当:矢野 9) 7/21(火)「糖鎖合成異常による疾患と治療/確認テスト」 担当:北川 10) 7/28(火)「分子標的薬を知る/確認テスト」 担当:松本 11) 8/4(火)「脳への薬物送達:いかにしてBBBを克服するか/確認テスト」 担当:坂根 12) 8/11(火) (予備日)		
成績評価方法	授業への参加度40%、各授業の確認テスト60%で評価する。 授業への参加度(授業中の発言等)や確認テストの内容をもって評価する。		
成績評価基準	薬物治療における分子メカニズムについて修得できているか。 薬物動態の基本を修得し、医薬品適正使用上の注意点が説明できているか。 臨床研究や臨床試験を行う上での配慮すべき点について理解できているか。		
履修上の注意 (関連科目情報)	薬理学や臨床薬理学などにかかる著書・論文等に目を通しておくこと。		
事前・事後学修	事前学修:各回の授業で取り扱う項目について、関係する書物・論文等を読んだ上で、疑問点をまとめておくこと。 事後学修:各回の授業で取り扱った事項について、関係する書物・論文等を再読し、授業で学んだことについてまとめること。		
学生へのメッセージ	不明な部分がある場合は、躊躇せずに質問することを心がけること。 積極的態度で、何事にも興味を持ち授業に望むこと。		
オフィスアワー・連絡先	随時受け付けます。ただし、会議や出張で不在にすることもあるため、事前に予約すること。 【研究室】附属病院外来診療棟地下1階 薬剤部 薬剤部長室 【連絡先】薬剤部秘書室(メール:hisyo@med.kobe-u.ac.jp)にてアポイントを取ってください。		
今年度の工夫			
教科書	講義内容に合わせて、必要ある場合は、別途お知らせします。		
参考書・参考資料等	講義内容に合わせて、必要ある場合は、別途お知らせします。		
授業における使用言語	日本語		
キーワード			